啓西小学校新聞

れいわ4年11月8日
4年1組
斉とうけんご

啓西小学校の歴史

帯広市立啓西小学校はしょうわ42年1月1日に開校しました。市内で9番目に開校で長い歴史があります。しょうわ42年当時は野外で全校朝礼をしていました。今はやっていません。校歌はしょうわ46年3月10日に作られました。作詩田中幸太郎、作曲永井幸次という人です。

平成3年には資料室を開設しました。そこは昔のおもちゃや貝もありました昔の写真やねんぴょうなど学校の歴史のわかる物があります。そして、平成1年に温水プールが作られました。近くの小学校も一緒に使っていました。そのプールはグラウンドの隅にあり、遠路をわたった所にあります。今のプールより遠い所にありました。プールの大きさはそちメートル4コースです。そして平成14年6月24日に新校舎ができました。木を多用しユニバーサルデザインの考えが入っています。ユニバーサルデザインとは年れいや障がいなどにかかわらずさい初からできるだけ多くの人が使いやすいようにすることです。たとえばエレベータイや障がい者用トイレなどがあります。また、新しい体いく館は平成22年10月にできました。

啓西小学校には見守り隊がありません。これは、学校と地域をつなぐかけ橋になっています。見守り隊とは毎日みんなが事こにあわないように、緑の服を着て信号の前に立ってくれています。

また、学校の玄関前にレリーフがあります。このレリーフの台名は「太陽と月のハーモニー」といいます。このレリーフは「十勝川と十勝平野、子ども達の輝ける未来大地の虫たち、生きるもの全てが月の光、太陽のあたたかな陽射しにつつまれ、喜びとき望のハーモニーを作り出す」ことをコンセプトにしています。

2016年には、開校50年になりました。ものときのそつぎょう生の数は6425人になりました。

現在の児童数は586人です。学きゅう数は18です。学校教育目標は、「進んで学び心やさしく元気な子」です。校訓、「どんどん（活動する子）わくわく（感動する子）いきいき（表現する子）です。」地域の特色を生かした学習について、有名なのが帯広のけり馬場から馬をもってきたじゅぎょうです。コロナのえいきょうで今はできませんが、みんな楽しみにしていました。

（太陽と月のハーモニー）

ぼくたちの学校しょうかい

今回ぼくは啓西小学校新聞をかくために初めてしりょう室に入りました、そこにはたくさんの昔の物やそつぎょう生の写真がありました。

鈴木校長先生に聞きました

これからの学校

これからの啓西小学校はどうなるのかぼくは、鈴木校長先生にインタビューをしました。

まずコロナが続いているが、楽しい行事について、聞きました。なぜなら、遠足が楽しみだからです 校長先生は、遠足や修学旅行はコロナでも続くと言いました。

次に体育の授業はどうなるのかを聞きました。なぜかというと体育の授業がぼくは好きだからです。校長先生はふえないと言いました。ただ、タブレットを使って、ビデオやお手本をみることになると言いました。

オンライン授業について聞きました。学校にクローム、シクがスリーに人一台ありました。校長先生はどんどんふえると言いました。また、一人だけでなく、友だちと一緒に考える時にも使うようになると言いました。

次に給食のことを聞きました。ぼくの親が「昔の給食はまずかった。」という。てました。ぼくは今の給食はおいしいと思います。校長先生はもっとおいしくなると言いました。なぜなら、今給食センターでは、色いろとメニューをくふうしているからだそうです。

グラウンドの遊具についても聞きました。遊具が少なくて、休み時間にみんなでなりんでいます。その事がきになって校長先生に聞きました。その答えは遊具はふえないと言いました。だから遊具を使わない遊びを考えないとりけません。

教室がせまくて暑いことについても聞きました。その答えは、いずれエアコンがつくと言いました。今は保けん室にはついています。ほかの学校にもエアコンがふえています。

学校のかいちくについては、まだこの学校は新しいかりかいちくの予定はないと言いました。

未来の学校はどうなると思うのか聞きました。そしたらあまり変はらないと言いました。

ぼくは未来の学校は楽しいふんいきになると思います。きっとケンカをしないで協力できると思います。